

合同会社竹内農園

【北広島市】

はじめは？

代表の竹内さんは、元々サラリーマンとして静岡県での勤務やインド駐在を経験しました。そのときに実感したことが「自分の出身の北海道は、産業という点で負けているのではないか」という思いでした。そして、北海道に戻り、札幌市内の知的障害者の福祉施設での勤務を経験し、「北海道ならではの仕事として農業の仕事をしたい」と考え、恵庭市内の農業法人での研修を受け、農業と福祉の連携を目指して、2014年春、北広島市内に新規就農しました。

機械を使用した作業が一般的と考えられている農作業ですが、実際には、手作業で行う農作業が多いため、障がい者にも作業してもらえると考え、農業と福祉の連携(農福連携)を目指した活動を行っています。



障がい者が使用できるように用意した農業機械(長ねぎ・玉ねぎ定植機)

おもな活動



長ネギ栽培

竹内農園では、市内の精神障がい者の通所施設の利用者が通い、就労訓練を兼ねて農作業を行っています。

障がい者が農作業を行うために、健常者が一般的に使用する大型の機械ではなく、障がい者も安全に使用できる手動の機械を用意します。また、作業を細分化することにより、障がい者が行える様々な仕事ができるようになります。例えば、健常者が一連の作業として行う「種をまく」という作業も、「ペーパーポット(苗を移植するための鉢)を開く」、「土を詰める」、「覆土をする」、「苗を育てるためのトレイを移動する」等、作業を細かく分け、障がい者も農作業を行うことができます。

このようにして竹内農園で栽培された農産物は、北広島市や札幌市内の飲食店やスーパーに出荷されています。

ここが自慢

【障がい者を人材から人財へ】

農福連携によって、農業及び福祉の両方の視点から、様々な効果が得られました。福祉との連携によって、地域との結びつきを持つことができ、また、障がい者からは、農作業を通じて「薬の量を減らすことができた」等の効果もありました。平成27年からは、竹内農園に関わる福祉事業所を増やす一方で、札幌市内の高校や北広島市内の一般の方の農業体験の受け入れも計画しています。北海道でありながら冬場の農作業も準備したいなど課題もありますが、多くの人にこの農福連携の取り組みを紹介し、社会に広げていきたいと考えています。



「農福連携」を目指して活動する竹内さん

データ

■代表者: 竹内巧さん / 設立: 2013年 /

■連絡先: 北広島市大曲柏葉5丁目4-1

■電話: 080-1898-5258

■HP: <http://takenouen.ohitashi.com>